

- 2面 長崎タウンミーティング〈長崎〉
北海道地方政治参与会議〈北海道〉
九州政治参与会〈九州関門〉
- 3面 目指せ海のスペシャリスト・
船員職業ガイダンス
〈北海道・三崎・長崎・鹿児島〉

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行第3130号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2026年(令和8年)
10月5日
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

シーパル女川汽船株式会社

新造船

しまあかり就航

女川港～江島を約30分で結ぶ

新造船の就航式

就航式典は女川港岸壁沿いの女川町離島航路ターミナルで行われ、シーパル女川汽船株式会社の須田菊男代表取締役が「これまで、しまなぎが担ってきた役目をしまあかり

が引き継ぎ、地域の航路を守る。安全に運航していく」とあいさつし、続いて来賓の須田善明女川町長があいさつを述べて、テープカットが行われた。就航式典後、出席者は「しまあかり」に乗船し、女川港を出港、船内見学を兼ね



て女川湾内を周遊した。佐藤哲也船長は「本船はスラスターや油圧式ランプウェイが追加されたことで、従来の『しまなぎ』に比べて操船や作業の労務負担が軽減されている。また、救命設備や航海計器も最新のものに新調され、安全性も向上した。『しまなぎ』が20年間、地域の生活を支えて愛されたように、本船も長く地域に愛されるよう、心機転、安心・安全運航に努めていきたい」と語った。

シーパル女川汽船株式会社は2005年に設立されて以降、女川町の離島航路である出島航路と江島航路を運航してきたが、2024年12月に出島と本土側を結ぶ出島大橋が開通したことで、現在は江

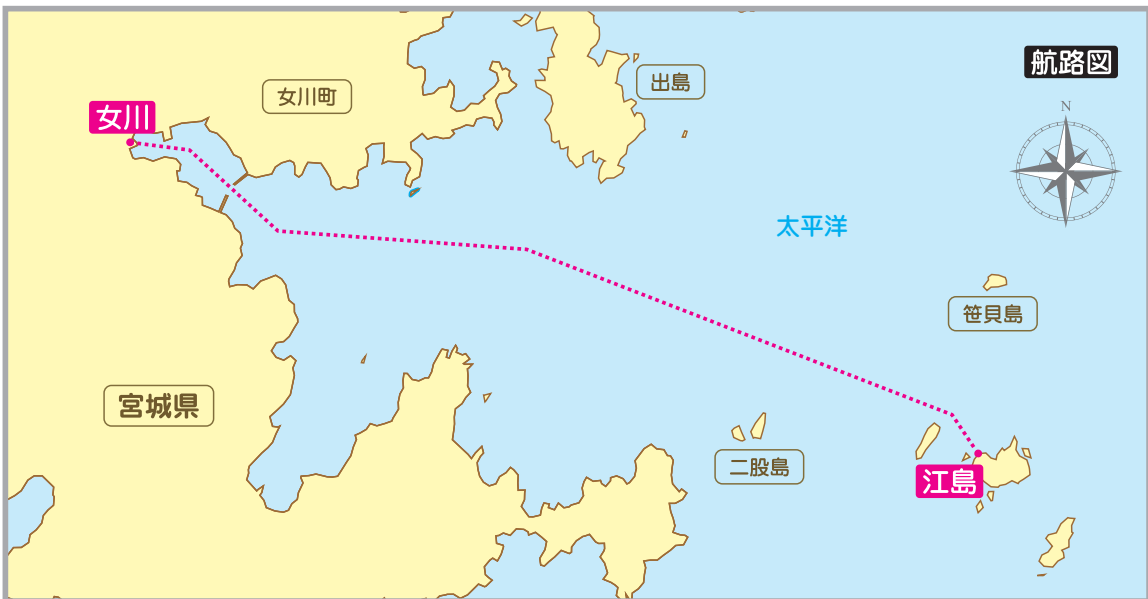


就航式典・テープカット

9月16日、宮城県女川町の女川町離島航路ターミナルで、女川港と江島を結ぶシーパル女川汽船株式会社の新造船「しまあかり」の就航式が行われた。新たに女川港と江島の離島航路に就航する「しまあかり」は、これまで約20年もの間、女川町の離島航路で活躍してきた「しまなぎ」の老朽化や安全設備対応に伴い建造された船で、島民の生活航路として、また、自然あふれる江島に観光や釣り、ダイビングなどで訪れる人に欠かせない海上交通手段として活躍することが期待されている。

新造船「しまあかり」のスペックは全長25・3m、総トン数53トン、最大搭載人数50名(うち旅客は46名)となっている。また、車いすのまま乗船できるスペースなど、バリアフリー機能も備えている。

船名は「明るい未来を照らして」との思いを込めて



航路図

宮城県女川町

女川町は宮城県の東、牡鹿半島にあり、東日本大震災で被災した三陸地域に創設された「三陸復興国立公園」地域に指定されている。北上山地と太平洋が交わる風光明媚なリアス式海岸は天然の良港を形成し、カキやホタテ・ホヤ・銀鮭などの養殖業が盛んで、世界三大漁場の一つである金華山漁場が近いことから、魚市場には年間を通じて暖流・寒流の豊富な魚種が数多く水揚げされ、歴史深い出島・江島の島巡りや釣り・ダイビングが楽しめるほか、自然の香

江島(えのしま)

りが心地よい山々には希少な山野草が多く生育している。ウミネコの歌声が響く自然と歴史の島で、自然景観に恵まれた美しい小さな島。八つの島からなる江島列島のひとつで、江島列島は「ウミネコ、ウトウの繁殖地」として国の天然記念物指定を受けている。神奈川県の「江の島」、長崎県の「江島」と区別するた

め、「陸前江島」とも呼ばれ、周りの江島漁場は、条件が整えばさまざまな魚が大量にやってくる好漁場として、釣り客にも人気がある。見どころの久須師神社は、神社で奉納される「江島法印神楽」が、県指定無形民俗文化財に指定されており、江島の地理的条件から他の地方では途絶えた型や曲目も残存し、現代に伝承されている。

〈東北地方支部発行〉



船橋(操舵室)



船内(客室)



しまあかり



女川町離島航路ターミナル



西岡秀子衆議院議員(組合政治参与)

海事振興連盟のタウンミーティングが9月12日、長崎県長崎市の「ホテルニュー長崎」で開催され、本組合から松浦満晴組合長をはじめ、7人の執行部が出席した。タウンミーティングは海事関係者と国会議員、自治体などが意見交換し、海事都市の声を国政に反映させることを目的とし、今年が長崎市で開催された。

はじめに令和8年熊本地震で被災された方々への黙とうが行われた後、高市早苗自由民主党総裁・内閣総理大臣や多くの国会議員からの激励メッセージが伝えられ、後藤茂之海事振興連盟会長が「海事産業は国民の生活と日本経済を支える重要なインフラであり、経済安全保障や国家戦略上で非常に重要な基盤である。地域の産業として、どのように支えていくのか、知恵を出しながら前進させていきたい」とあいさつした。

《長崎支部 発信》

海事振興連盟 長崎タウンミーティング

海運・船員政策諸課題実現を要望



海運・船員政策の実現を要望する松浦満晴組合長

新燃料に携わる船員の安全対策と教育・訓練▽船員の確保・育成の推進▽船員税制の早期実現▽カボタージュ規制の堅持▽旅客船の維持・活性化▽航行の安全▽海賊対策▽国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化の重要性を説明し、これからの国政に必要不可欠なものとして反映させてほしいと要望した。

会議では国土交通省や国会議員が、各団体からの要望について意見を述べ、本タウンミーティングのとりまとめとして、本組合の要望事項を盛り込んだ17項目からなる「海事振興連盟・長崎タウンミーティング決議」が満場一致で採択された。

北海道地方政治参与会議



8月21日、北海道函館市の全日本海員組合道南支部で、令和8年度北海道地方政治参与会議を開催した。

はじめに遠藤節北海道地方支部長が「本日は道内の政治参与に出席していただき感謝申し上げます。道内の諸課題について活発な意見、論議をよろしく願いたい」とあいさつした。

続いて組合本部から出席した政治活動委員会委員長である松浦満晴組合長が「本組合の活動への理解と協力に深く感謝申し上げます。本日は限られた時間の中ではありますが、活動方針の具現化へ向けて、意見交換をしていきたい」とあいさつした。

報告事項では、漢那太作政

8月21日、北海道函館市の全日本海員組合道南支部で、令和8年度北海道地方政治参与会議を開催した。

はじめて遠藤節北海道地方支部長が「本日は道内の政治参与に出席していただき感謝申し上げます。道内の諸課題について活発な意見、論議をよろしく願いたい」とあいさつした。

報告事項では、漢那太作政

九州政治参与会



8月28日、大分県別府市の「ホテルサンバリアアネック」で九州政治参与会を開催した。浅野忠行九州関門地方支部長が「九州は日本の離島3割、100を超える有人離島を有しており、一部では船員不足を理由として減便せざるを得ない厳しい情勢になっている。参与会では忌憚ない意見交換をお願いしたい」とあいさつし、続いて全日本海員組合を代表した松浦満晴組合長が「政治参与のご参加と組合諸活動へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。各地域の震災による組合員の人的被害はないものの、家屋被害が発生していることから組合の共済給付制度に基づき迅速に対応している。また、不安定な

中東情勢による国家備蓄開放に伴うカボタージュ規制の在り方について、政治参与の皆さまには正しく認識していただき、風穴が開くようなことがないようお願いしたい。本日は有意義な会議としたい」とあいさつした。

西岡秀子衆議院議員に
政治参与を委嘱

参与会では新たに組合政治参与に就任した西岡秀子衆議院議員に、松浦組合長から委嘱状が手渡された後、出席者全員が自己紹介を行い、議事に移り、全日本海員組合(本部・九州管内)における諸活動と各政治参与の活動について報告し、意見交換を行った。

《九州関門地方支部 発信》



北海道小樽水産高等学校



黒島裕司校長のあいさつ



小樽港で小型ボート体験乗船

北海道小樽水産高等学校で「船乗りになろう!」

8月2日、北海道小樽水産高等学校の艇庫内で、船員職業の魅力を伝える説明会「船乗りになろう!」が開催され、北海道地方支部の執行部が講師として出席し、小樽市や札幌市内の中学生29人と保護者18人が参加した。

はじめに北海道小樽水産高等学校の黒島裕司校長から「説明会を通じて、少しでも船員に興味を抱き、進路・職業選択に役立ててほしい」とあいさつがあり、続いて遠藤節北海道地方支部長があいさつした後、説明会に入り、池上幸太北海道地方支部副支部長がパワーポイントをを用いて、海運・水産業の概要や船員の仕事・船の種類・船内生活などを説明した。

また、北川晃道南支部在籍執行部員が船での体験を交えた講話を行い、説明会終了後、グループ別に、小型ボートの体験乗船や漁業VR体験を実施した。参加した生徒からは「本校へ入学し深く学びたい」との声が聞かれた。(北海道地方支部「発信」)

目指せ 海のスペシャリスト

船員の魅力を伝えるイベントやガイダンス



神奈川県立海洋科学高等学校

長崎県立長崎鶴洋高等学校で漁業ガイダンスを開催

9月2日、長崎県立長崎鶴洋高等学校で、漁業ガイダンスを開催した。三崎支部「発信」

長崎県立長崎鶴洋高等学校で、漁業ガイダンスを開催した。三崎支部「発信」

神奈川県立海洋科学高等学校で漁師の仕事!知る授業

6月16日、三浦市三崎水産物地方卸売市場大会議室で、漁業ガイダンス「漁師の仕事!知る授業」が行われ、神奈川県立海洋科学高等学校の船舶運航科3年生36人と専攻科1年生14人が出席した。

ガイダンスは一般社団法人全国漁業就業確保育成センターが中心となり、海員組合の他、住吉漁業株式会社、大洋エーアンドエフ株式会社、共同船舶株式会社、株式会社長久丸など、計6船主が出席し、漁船漁業の魅力を伝えた。(三崎支部「発信」)



鹿児島県立鹿児島水産高等学校



神奈川県立海洋科学高等学校

鹿児島県立鹿児島水産高等学校で漁業ガイダンス

7月14日、鹿児島県立鹿児島水産高等学校で漁業ガイダンスが開催され、本科2年生の海洋科海洋技術コース10人、機関コース16人の計26人が出席した。

ガイダンスでは海外まき網や遠洋マグロはえ縄、遠洋カツオ一本釣り、捕鯨、大中型まき網、以西底引き網など、さまざまな企業が集まり、生徒は各ブースを回って仕事内容について説明を受けると、

洋高等学校で、一般社団法人大日本水産会が主催する漁業ガイダンスが開催され、水産科1年生45人が出席した。

今回のガイダンスには、山田水産株式会社や共同船舶株式会社、共和水産株式会社、大洋エーアンドエフ株式会社、株式会社永盛丸などの9社が参加し、生徒が1グループ15人に分かれ、各会社のブースで各漁業種の概要と船員としての働く上での魅力、船内生活と居住環境について説明を受けた。(長崎支部「発信」)



宮崎県立宮崎海洋高等学校



長崎県立長崎鶴洋高等学校

宮崎県立宮崎海洋高等学校で漁業ガイダンス

7月17日、宮崎県立海洋高等学校で、漁業ガイダンスを開催した。三崎支部「発信」

宮崎県立宮崎海洋高等学校で、漁業ガイダンスを開催した。三崎支部「発信」

中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

2026年10月5日

第40期全国委員・補充選挙の告示

規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第41期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員

《選挙単位コード・単位名》

地方単位 03 関東 1名

地方単位 04 関西 1名

二、補充選挙の実施日程

立候補届出期間 2026年10月5日より

2026年10月14日まで

候補者告示 2026年10月15日

投票期間 2026年10月15日より

2026年11月14日まで

当選人告示 2026年11月15日(予定)

三、補充選挙の被選挙人

(1) 地方区

全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする

四、立候補の届け出

立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先

中央選挙委員会事務局(総務部)

第41期全国委員の資格喪失告示

一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。

《地方区・地方単位》

01 北海道 若杉 健太

03 関東 高橋 一正

03 関東 中村 亮太

04 関西 藤本 真

第41期全国委員・補充選挙の告示

規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第41期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員

《選挙単位コード・単位名》

地方単位 01 北海道 1名

地方単位 03 関東 2名

地方単位 04 関西 1名

二、補充選挙の実施日程

立候補届出期間 2026年10月5日より

2026年10月14日まで

候補者告示 2026年10月15日

投票期間 2026年10月15日より

2026年11月14日まで

当選人告示 2026年11月15日(予定)

三、補充選挙の被選挙人

(1) 地方区

全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする

四、立候補の届け出

立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先

中央選挙委員会事務局(総務部)

以上

これまで知らなかった漁業の仕事について、積極的に質問する場面も多く見られた。(鹿児島支部「発信」)

宮崎県立宮崎海洋高等学校で、漁業ガイダンスを開催した。三崎支部「発信」

宮崎県立宮崎海洋高等学校で、漁業ガイダンスを開催した。三崎支部「発信」

中央選挙委員会事務局(総務部)

以上

中央選挙委員会事務局(総務部)

以上

道北支部



道南支部



海員スポーツイベント

全国各地でボウリング大会

スポーツで日頃のストレスを解消!



道北支部

9月5日、紋別ローヤルボウルで紋別地区漁船ボウリング大会を開催し、組合員とその家族、37人が参加した。4人1組で2ゲームの合計を競う団体戦では第81平安丸が優勝した。個人戦は、第28嘉廣丸の鈴木誠さんが優勝し、第2位は第81平安丸の松本博志さん、第3位は第28嘉廣丸の次田悠人さんとなった。

道南支部

8月5日、海員ボウリング大会をボウルサンシャイン函館店で開催し、組合員とその家族、39人が参加した。浅野充玲さんの始球式で競技がスタートし、白熱したゲームを繰り広げた結果、優勝は浅野充玲等航海士、第2位は石田俊介甲板員、第3位は山崎陸丘司厨員(いずれも津軽海峡

フリース株式会社)となった。

八戸支部

8月4日、八戸市のゆりの木ボウルで、八戸地区の沖合底引き網漁船ボウリング大会を開催し、組合員28人が参加した。競技は、和やかな雰囲気です。スタート。ストライクやスペアをとった際には大きな歓声が上がった。

競技の結果、第8正進丸の清水駿也甲板員が見事優勝を飾り、参加した組合員からは「来年も参加したい」との声が寄せられ、スポーツイベントを終了した。

東北地方支部

7月27日、石巻市内のプレナミヤギで、第13回石巻地区海員スポーツイベントを開催し、沖合底引き網漁船に乗船する21人の組合員が参加した。始球式は、組合員家族の茂木永真さん(10歳)が行い、小さな体を大きくしなせた投球で会場を沸かせると、ゲームが開始された。結果は、第八十八丸の高橋功祐さんが優勝し、第2位は第八十三栄久丸の大壁直東さん、第3位は第八十六龍神丸の遠藤琉斗さんとなった。

関西地方支部

9月11日、令和8年度ボウリング大会をラウンドワン三宮駅前店で開催し、組合員とその家族、海事関係者など30人が参加した。ゲームの序盤は、ミスを連発し成績が振るわない人もいたが、徐々にストライクやスペアなどの好プレイに仲間とハイタッチする姿が見られるようになり、



会場は盛り上がった。

優勝は灘谷正司さん、準優勝は滝信也さん(いずれも淡路ルートサービス株式会社)、第3位は日東タク株式会社の中村光さんとなった。

高松支部

7月17日、第27回海員「海の日」記念ボウリング大会を高松市の太平洋ボウルで開催し、22人が参加した。瀬戸大橋総合開発株式会社の吉野昌司職場委員の始球式でゲームがスタートし、日頃の練習成果を発揮する人、2ゲーム目には疲れを見せながらも奮闘する人など、会場はさまざまな熱気に包まれた。

優勝は個人の部が瀬戸大橋総合開発株式会社の泉鉄男さん、団体の部は瀬戸大橋総合開発Aチームとなり、参加者全員が健闘をたたえ合い大会を終了した。

東北地方支部



八戸支部



関西地方支部



高松支部